



「京」 influence gig 平山みき in 中村楼



—「京」が好きな人がこのgigを通して相互に「京」の新たな魅力を発見し、またそれを広めてもらうように—

そんな思いを込めて動き出したこのイベントは、八坂神社は南楼門前に佇まう中村楼の女将の心をも突き動かした。何しろ会場は戦国時代より約450年の歴史を数える老舗、その場所で「ディナーショー」をシリーズで始めようというのだから、会場を提供する女将の決断は並々ならぬものだったろう。

訪れた人の中には、平山みきさん目当ての往年のファンも、ディナーショー感覚の方々もいたかもしれない。ただ、この中村楼という老舗のフィルターを通して平山みきさんを見た時、またその逆から見た時、何を感じたか？ それは「京」なる共通言語の先に見えた「京」の新たな魅力ではなかったか。

同じような意気込み、神社仏閣などで様々なイベントが開催される昨今、今宵、「京」の魅力を伝えんとする牽引者の一人に平山みきの名が挙がった。

人の心に流れ込み、溢れ広まることを願い 京に魅せられたシンガーが魅せた「京」

A. 手前から平山みきさん、中村楼・女将さん、そして「お酒客で憧れの人、尊敬できる人、その反面、気さくなお姉さん」と平山みきさんにベタ惚れのSeijiさん。**B.** 当日は京料理とライブの2部構成。お座敷で料亭として営む現在の味を舞妓さんと共に堪能した後、ライブ会場へ移動。舞妓さんは祇園の「榊梅」より、協賛にはアサヒビール・キリンビール・キンシ正宗・月桂冠が名乗りを上げ、酒宴は豪華なものに。食事を堪能しすぎて少々千鳥足気味の方もいらっしゃいました。**C.** 南楼門前の参道に佇まう中村楼。八坂の塔と称される法観寺にその最古の記録が残っている。約450年の歴史の中で、このようなライブが行われるのは初の試みだそう。老舗の看板を背負う女将の英断に、ただ感服。**D.** 会場内には「京」ブランドのエキシビジョンやセレクトショップも併設。写真は平山みきさんのオリジナルブランド「イエローライオン」。手前はイギリス人画家・アレックさんとのコラボ干支Tシャツ。**E.** 満員御礼となったこの日、やはり中心客層は40代の歌謡曲世代。往年の名曲「真夏の出来事」が歌い上げられると、ともに口ずさむ姿もチラホラ。盛況ぶりに早くも今年、平成17年度は12月3・4日の2日間構成で行うという決定を見た。**F.** 国立歌舞伎俳優第11卒業のSeijiさんは、バックバンド「Blueprint」のリズムに合わせ妖艶な舞を披露。13年間歌舞伎の女形として活動し、現在はシャンソンやモデルなどで現代の女形として活躍中。

